資料No.５

令和８年度

富山県公共事業再評価

用　語　集

令和８年７月３０日

富山県土木部

土 木 用 語 集

事業区分	用　　語	説　　明
共　通	費用便益比	使った費用と、得られる効果を比で表したもの。同じ場合には、費用便益比は１となる。１を上回るということは、得られる効果の方が大きいということ。
道　路	国道	高速自動車国道と併せて全国的な幹線道路網を構成し、かつ、一定の法定要件に該当する道路。
	県道	地方的な幹線道路網を構成し、かつ、一定の法定要件に該当するもののうちから、県議会の承認を得て知事が認定したもの。県道のうち道路の整備を特に促進するために国土交通大臣が指定するものを主要地方道と称し、通常、それ以外の一般県道と区別している。
	緊急輸送道路	災害が発生した時に援助・医療・消防活動及び避難者への緊急物資の確保等に必要な人・物の輸送を行うため、富山県地域防災計画で指定されている道路。
	自転車歩行者道	自転車と歩行者を自動車交通から分離し、両者を道路の同一の部分をお互いに譲り合って通行させることにより、自転車と歩行者の安全を確保しようとするものである。原則として3.0m以上の幅員。
	上部工 （じょうぶこう）	橋梁の上部構造。橋桁や床版等により構成される。
	下部工 （かぶこう）	橋梁の上部構造を支えている部分。橋台、橋脚を指す。
河　川	一級河川	国土保全上または国民経済上特に重要な水系で（富山県では黒部川、常願寺川、神通川、庄川、小矢部川の５水系）、政令で指定したものに係る河川で、国土交通大臣が指定したものをいう。都道府県知事にその管理の一部を委任する指定区間と、国土交通大臣が直接管理する指定区間外（大臣管理区間）からなる。
	二級河川	一級河川以外の水系で、公共の利害に重要な関係があるものに係る河川で都道府県知事が指定したものをいう。都道府県知事がその管理を行う。
	流下能力 （りゅうかのうりょく）	川が流すことができる洪水の規模のことで、流量で表現する。
	流域面積 （りゅういきめんせき）	降雨が河川のある地点に流入する範囲の面積。
	河道 （かどう）	流水を安全に流下させるための水の流れる部分。
	護岸 （ごがん）	堤防あるいは河岸を保護するもの。
	築堤 （ちくてい）	河川に流れる水が河川の外に流出することを防止するために、堤防を築くこと。
	計画規模 （けいかくきぼ）	洪水を防ぐための計画を作成するとき、被害を発生させずに安全に流すことのできる洪水の大きさ（対策の目標となる洪水の規模）のこと。一般にその洪水が発生する確率（確率年）で表現する。
港　湾	緑地（りょくち）	港湾の修景や港湾就労者・近隣住民の休息など日常利用のほか、大規模災害発生時の避難箇所や緊急物資の一時保管スペースとして確保する区域。
砂　防	土石流危険渓流 （どせきりゅうきけんけいりゅう）	土石流の発生の危険性があり、人家等に被害を生ずる恐れがある渓流。
	土砂災害警戒区域 （どしゃさいがいけいかいくいき）	土砂災害防止法に基づき、土砂災害のおそれがある区域として指定した区域。この地域では、土砂災害に対する警戒避難体制の整備が必要となる。
	土砂災害特別警戒区域 （どしゃさいがいとくべつけいかいくいき）	土砂災害防止法に基づき、土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域として指定した区域。この区域に指定されると、特定開発行為に許可が必要となり、また、建築物の構造規制等が行われる。

土 木 用 語 集

事業区分	用　　語	説　　明
砂　防	要配慮者利用施設 （ようはいりょしゃりようしせつ）	防災上、配慮を要する者※が利用する施設。（※災害対策法第8条第2項15号） 具体的には、幼稚園、特別支援学校、児童福祉施設、老人福祉関係施設、介護保険施設、障害児支援施設、障害福祉サービス事業所など。
	渓床勾配 （けいしょうこうばい）	渓流において流水に接する地面を渓床といい、渓床の縦断方向（流水方向）に対する傾きを渓床勾配という。
	砂防堰堤 （さぼうえんてい）	土砂の調節を行う施設。 土石流や大量の土砂が一度に流出したときに、一時的に土砂を堆積させるもの。
	渓流保全工 （けいりゅうほぜんこう）	急流河川では川岸が浸食されてその土砂が下流に流出し、氾濫・決壊を招くことがあるため、それを防止するために川岸を被覆する工作物。
	透過型砂防堰堤 （とうかがたさぼうえんてい）	堰堤の中央部に設けられた水通し部（洪水を通す部分）の下に開口部（スリット型の透過部等）を設けるもので、鋼製の部材を縦横に配置し、土石流や流木を堆積させるタイプのものもある。 土石流発生時にのみ土砂をせき止め、土石流発生後には除石を行い、従前の機能を回復させるもので、常時および中小出水時においては無害な土砂を下流に流し、河床の連続性を保てるなどのメリットがある。
街　路	都市計画道路	都市施設として都市計画法に基づいて都市計画決定された道路。
	連続立体交差事業	略称を連立といい、市街地において鉄道の一定区間を高架化または地下化し、多数の踏切の除去、既設道路の大規模改築あるいは新設道路との立体交差を一挙に実現する事業。
	あいの風とやま鉄道線 下り線、上り線	あいの風とやま鉄道線下り線は金沢方から直江津方へ向かう線路、上り線はその逆方向の線路。
	富山地方鉄道本線 下り線、上り線	地鉄本線下り線は電鉄富山から宇奈月温泉・立山方へ向かう線路、上り線はその逆方向の線路。